



MTXEPS

顧客情報

企業向け電子決済ソリューションの大手プロバイダー

業種

SaaS 型電子決済

IT 環境

POS システムからデータセンターまでを網羅

課題

マルウェアの侵入、情報流出、不正なシステム変更から決済サービスを保護する。

マカフィーのソリューション

McAfee Integrity Control

導入結果

- マルウェアの侵入、情報流出、不正なシステム変更から MTXEPS を保護
- システム全体で端末に対する変更をリアルタイムに検出
- PCI コンプライアンス以上のセキュリティを実現

MTXEPS、McAfee Integrity Control でクレジットカード情報を完全に保護

MTXEPS は、電子決済ソフトウェアを提供する株式未公開企業です。MTXEPS のソフトウェア製品は顧客のカード情報を 3 段階で保護し、現在の PCI DSS (PCI Data Security Standards) の基準を満たしています。

PCI DSS を遵守し、情報の改ざん、漏えい、詐欺のリスクを回避

MTXEPS では、小売店の POS 端末だけでなく企業のデータセンターまでも PCI DSS コンプライアンス要件を満たすため、有効なツールを探していました。

MTXEPS は、自社と顧客のリスクを限りなくゼロにすることを目標にしています。小売店や決済処理会社では、詐欺やデータ侵害が大きな問題となっています。事実、クレジットカードを処理、格納、送信する企業は常に脅威に晒されています。Association for Financial Professionals が 2009 年に実施した調査によると、決済を狙った攻撃は広範囲で発生しています。調査した 70% 以上の組織が 2008 年に詐欺の被害を受けたと答えています。世界的に見ても、電子決済の普及に伴い、データ侵害の件数が急増し、被害規模も大きくなっています。

McAfee Integrity Control でデータを保護し、マルウェアを排除

MTXEPS の Ken Harris 副社長は次のように述べています。「弊社では、すべてのデバイスに対する変更を一つの製品で管理できるセキュアなソリューションを必要としていました。弊社の製品では、POS 端末からデータセンターまで、あらゆる場所でデータを保護する必要があります。McAfee Integrity Control は、我々に最適なソリューションでした。」

セキュアな環境を構築する際に重要な点は、IT インフラ全体で発生したすべて変更を迅速に把握できるようにすることです。MTXEPS のソフトウェアは約 15,000 の小売店に配備され、各店舗で POS 端末の設定が変更されることも珍しくありません。しかし、このような変更はコンプライアンスだけでなくセキュリティの点でも問題を引き起こす危険性があります。

POS 端末に対する不正な変更を防ぐため、Integrity Control は MTXEPS の IT インフラの状態を保護します。マカフィーのソリューションにより、セキュリティやコンプライアンス、可用性を侵害する危険性のある変更をリアルタイムに確認し、環境内のデバイスを完全に制御できます。インシデントが発生しても、余分なリソースを追加することなく、迅速かつ効果的に問題に対応することができます。

McAfee Integrity Control はウイルスとマルウェアの侵入を阻止するので、MTXEPS を利用する小売店は余分な費用をかけずに PCI 要件を満たすことができます。どの小売店も攻撃を受ける可能性があります。MTXEPS などの電子決済ベンダーは業界を襲うデータ侵害の被害を十分に認識しています。たとえば、Heartland Payment Systems の事件では、1 億枚のカード情報が流出した可能性があります。

「データ侵害は最悪な事態をもたらします。4 番目の防御層として McAfee Integrity Control が自社と顧客のセキュリティを強化しています」と Harris 氏は述べています。

電子決済サービスを提供する MTXEPS では、情報流出を絶対に防がなければなりません。この要件を満たすには、マカフィーのソリューションが不可欠でした。

POS からデータセンターまでを保護

MTXEPS は、データセンター側に McAfee Integrity Control を導入し、POS 端末と同様のロック機能と変更管理を実装しています。「一つの管理ツールでインフラ全体の管理が可能になりました。システムに不正な変更が行われても、すぐに変更を検知し、対処することができます。これは以前にはなかったことで、非常に有効な機能です」と Harris 氏は述べています。

MTXEPS は、データセンターで使用するソリューションをいくつか評価しましたが、最終的に McAfee Integrity Control を採用しました。MTXEPS の POS 側の決済ソフトウェアにマカフィーのソリューションがすでに統合されていたことも、大きな採用の決め手になっています。

また、MTXEPS は世界各地の小売店と販売代理店にソフトウェアソリューションを提供している Retailix と業務提携を結んでいます。Retailix は長年にわたりマカフィー製品を使用しているため、MTXEPS でも同じ技術を利用することになりました。

Harris 氏は次のように述べています。「クライアントからサーバーまでの End-to-End にて同じソリューションを利用するのは合理的なことです。別々の製品を導入して余分な時間やリソースを使うのではなく、POS で成功した製品をデータセンターでも利用したいと考えるのは当然でしょう。」

部分最適ではなく、全体最適が実現できるソリューションの方がはるかに効果的です。

将来の PCI にも対応

MTXEPS は、セキュリティとコンプライアンスの点で厳しい要件を常に満たす必要に迫られています。しかし、マカフィーのソリューションにより、現在の PCI 規格を満たすだけでなく、将来のより厳しい基準にも耐えられるようになりました。

「変更管理と PCI コンプライアンスの点でマカフィーのソリューションは素晴らしい結果をもたらしました」と Harris 氏は述べています。

マカフィーにより、MTXEPS は End-to-End での変更管理が容易になり、実行ファイルの改ざんがなくなりました。セキュリティは以前よりも強化され、不正なコードがシステムに侵入することはありません。また、これらの管理作業すべてを一つのシステムで実行できます。

マカフィーのソリューションは IT インフラの状態を保護します。以前よりもセキュリティが強化されました。

MTXEPS Inc. 副社長

Ken Harris



マカフィー株式会社
www.mcafee.com/jp

東京本社 千 150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1
渋谷マークシティウエスト 20F
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480

名古屋営業所 千 460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-20-17
中外東京海上ビルディング 3F
TEL 052-954-9551 (代) FAX 052-954-9552

西日本支店 千 530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2
近鉄堂島ビル 18F
TEL 06-6344-1511 (代) FAX 06-6344-1517

福岡営業所 千 810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8
アクア博多 5F
TEL 092-287-9674 (代) FAX 092-287-9675

McAfee またはその他の商標は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。McAfee ブランドの製品は赤を基調としています。本書中のその他の登録商標および商標はそれぞれその所有者に帰属します。

© 2011 McAfee, Inc. All rights reserved.

7796cs_MTXEPS_1209